

海陽だより

荒尾海陽中学校

第5号(R7.5.26)

「挑戦！さらに一步前進」

文責：校長 右田尚久

～体育大会を振り返って～

5月20日に体育大会の振り返り集会を行いました。とても感動した体育大会であったことは第4号でお伝えしましたが、その続編として、各学年の代表者が全校生徒の前で発表してくれました。自分の思いや考えたことをアウトプットすることは、大きな学びになります。発表した3名の皆さん、ありがとうございました。

以下、その内容を掲載します。

【1年代表】

僕は中学校に入って初めての体育大会で、たくさん学んだことがあります。体育大会で一番大変だったのは、1年生の全員リレーです。僕はリレーで1位を取るために毎日夕方、タイヤ引きをしてたくさん練習をしてきました。本番では3位で悔しい思いをしましたが、とても楽しかったです。一番楽しかったことは、1年生から3年生までする綱引きです。縄を見たときは、とても長くこんなに大人数でやるんだとびっくりしました。僕は力に自信がなく、体もやせている方なので、心配していました。しかし、1.2.3年生合同では綱引きと海陽リレーの2つなので、頑張ろうと思いました。結果は、赤団が優勝することができたので、とてもうれしかったです。感動したことは、団長の熱意です。どの団長よりも声が出ていてとてもかっこよかったです。特に赤団の団長は、みんなに指示を出し、それにみんなついていき、全員が大きい声を出させていたので、その熱量が天気も回復してくれたんじゃないかなと思います。全員の頑張りがすごいと思いました。赤団は2位で優勝できなかったのですが、いい思い出になりました。僕はこのことを今後の学校生活に生かし、僕が3年生になったら団長になりたいと思いました。もし、団長になったら、誰よりも大きな声を出し、みんなに尊敬されるような団長になりたいです。

【2年代表】

僕が体育大会で頑張ったことは3つあります。1つ目は競技です。僕はリレーとムカデ競走に出場しました。リレーでは、バトンパスをスムーズのできることと他のチームの人を一人でも抜くことを目標に、朝練で走順が前後の人たちとバトンパスの練習をしたり、家で走るときのフォームを確認したりしました。本番では、他のチームの人を抜くことはできなかったけど、バトンパスがスムーズにできてよかったです。ムカデ競争では、コーンを回るときにスムーズに回ることや止まらずに速く走るということを目標にしました。落ち着いてコーンを回るようにしたり、一緒に走る人たちと声を掛け合ったりして協力して練習をしました。本番では、スムーズの回ることができ、止まらず走りきれたのでよかったです。

2つ目は応援です。最初はなかなか声が出ずリーダーの人たちを困らせてしまう時もあったけど、声出し練習や応援歌の練習を重ねました。本番では全力で応援することができました。競技をする人をもっと頑張れるよう後押しできたと思うのでよかったです。

3つ目は、委員会での係です。僕は代議員なので1年生のリレーと台風の目で審判をしました。きちんと審判できるか不安もあったけど、本番ではきちんと審判ができ、競技を公平にすることができたのでよかったです。この3つを通して仲間と協力する大切さを学びました。また、開閉会式などでメリハリをつける大切さも学びました。さらに、自分が応援されることによって応援の大切さを知ったので、自分が競技をしていないときに応援することで応援の力や思いやりも学ぶことができました。全体の順位は2位だったけど、順位関係なく悔いが残らず楽しく終わることができました。思い出の残る体育大会になったので本当によかったです。

【3年代表】

まずはみなさん、体育大会お疲れさまでした。

今回の体育大会は、とても充実した時間となり、大きな経験と思い出を得ることができたのではないかでしょうか。今年は練習時間も少ない中で一人一人が集中し、一生懸命取り組むことができたと思います。特に3年生は、最後の体育大会で、仲間と力を合わせて一つの目標に向かう楽しさや達成感を改めて実感できた一日になったと思います。

みなさんは何が印象に残りましたか。私は様々な競技の中でダンスが一番印象に残っています。なぜなら、みんなと最後まで笑顔で踊れたことがうれしかったからです。それは、本番だけでなく練習の時からで、苦手な人も得意な人もお互いに協力して教え合いみんなで成長できたのがうれしかったからです。しかし、何十人を数人で教えようとするので全体に話が通らなかつたり、練習のペースが合わなかつたりで大変でした。でも、それ以上にダンスを教え終わった後は、「ありがとう」と言ってくれる人がいたり、踊っているときにすごく楽しそうな笑顔で踊ってくれる人がたくさんいたのがうれしくて、体育大会で一番達成感を味わいました。2年生は2回目、1年生は初めての体育大会で、今までとは違うところもあり、それぞれ感じたこともあると思います。全員が一つの同じ目標に向かって頑張ったからこそ、今までよりも最高の体育大会になったんだと思います。

最後までどこの団が優勝するかわからないくらい接戦でした。どの団もはじめから終わりまで本気で取り組めたからこそ出た結果だと思います。今回の体育大会をふまえて、あきらめない姿勢や仲間を支え合う姿は、今まで頑張ってきた私たちだからこそできることだと思いました。今回の体育大会のテーマ「力戦奮闘」、私は私のできる限りの全力を出し、競い、楽しむことができました。私にとって最後の体育大会は、とてもいい思い出になりました。

みなさんはこの体育大会で何を学びましたか。例えば自分の限界に挑戦する大切さや最後まであきらめない強い気持ち等、それぞれ学んだことをこれから的生活に生かし、3年生は受検にも生かしてがんばっていきましょう。

令和7年度生徒会スローガン

『責任　自信』～殻を破り　笑顔輝く海陽中～

生徒会会長より全校生徒に向け本年度の生徒会のスローガンの発表がありました。

「私たち生徒会執行部は、今の荒尾海陽中学校の課題と私たちが目指す海陽中の姿やゴールについて話し合いました。その中で、自分たちの発言や行動に責任を持ち、自分たちの学校に自信を持つことを大切にしたいという思いからメインテーマを『責任　自信』にしました。サブテーマを「殻を破り笑顔輝く海陽中」にしました。私たちには一人一人の積極性が足りないと感じました。そのため先輩方の意志は引き継ぎつつ、これから新しい学校を創りあげるために殻を破ることで地域から認められるとともに全員の笑顔が輝く学校を目指します。

この『責任　自信　～殻を破り笑顔輝く海陽中～』というテーマのもと、よりよい荒尾海陽中学校を生徒全員でつくっていきます。生徒会は生徒全員で構成される組織です。一人一人が生徒会の一員であるという自覚を持ち、自信を持てる学校を築いていきましょう。体育大会が終わった今だからこそ、このスローガンのもと全員でよりよい学校を作り上げていきましょう。」

すばらしいスローガンの発表ができたと思います。この生徒会執行部の思いを全校生徒がしっかりと受け止め、荒尾海陽中生徒というプライドをもって責任ある行動を取り、「今年の海陽中学校は変わったね。」と言われる学校になることを期待しています。

～お礼～体育大会では、多くの保護者の方にご声援いただきありがとうございました。また、駐車場や応援マナーにおいてもご理解いただき、大変感謝しております。

ただ、タバコの吸い殻入れをPTAの方から準備していただいたにもかかわらず、ポイ捨て（周辺の側溝に）がたくさんあり、残念でした。大人がお手本をお願いします。